

『ことばの誕生』～『どう成長するのか』&『どう広がっていくのか』～

2026年5月28日 埼玉県川越市の『川越のぞみ教会』での『がん哲学外来@川越のぞみカフェ 11周年記念シンポジウム ～ がんになって気づく事 ～』（西岡義行&西岡まり子牧師夫妻 企画）に赴いた(添付)。【先生の著書『もしも突然、がんを告知されたとしたら。』（2023年 東洋経済新報社発行）(添付)から、先生への質問形式でのインタビューを予定しております。】とのことであった。

【先生が がん細胞と闘う中で、医師と患者の隙間を埋める何か足りないとして、カフェを立ち上げられたことを改めて『がん細胞から学んだ生き方』などの書籍を感動をもって読みつつ備えております。さて、チラシにある『がんになって気づく事』というテーマですが、そうした気づきに寄り添ってきた先生の『ことばの処方箋』にまつわる質問を用意しようと考えております。

その際、それらの『ことばの誕生秘話』、そしてその『不思議な力』、そしてその言葉が『どう成長するのか』、『どう広がっていくのか』（一人の人に、人生に、お互いに、ヴィリッジに）に焦点を当ててみようと思っております。それは、ある方には瞬時に慰めや力となり、他の人には最初は、『分かったようでわからない』『謎の言葉』として頭のどこかに留まり、スルメイカのように『じわじわ味が染み出てくる』、別の人には、のどにつかえるようでいて、飲み込むとその言葉で目がひらかれたり、と様々だからです。

『のぞみカフェ』も11歳となり、最初は『空っぽの器?』は『謎の言葉』でした。そのうちじわじわと味が染み出て、やがて『合言葉』となります。ところが、その難しさに気づかされる時期が訪れ、そして今があるのではと思っています。それは、その器で起きている不思議な時間のゆえだと思っています。『言葉の処方箋』をめぐる対話を通じて、知らず知らずのうちに背負い込んでいた何かを下ろして涙する方や、ほんの少しの笑顔でカフェを出ていく方々との不思議な出会いに触れると、『空っぽの器』と言われるカフェがなぜ必要とされているのかに、気付かされるからです。—— 対談を通して先生が普段から考えておられる『伝えたい何』かが伝えられたらと願っております。】との『心温まる真摯な言葉』を頂いた。

筆者は、全力尽くして多数の質問に答えた。講演の後、筆者は3組の個人面談の時が与えられた。そして、スタッフの皆様と参加者と夕食の時を持った。大変有意義な、充実した貴重な時となった。ただただ感謝である。

開設 11 周年 記念シンポジウム がんになって気づく事

日時 **2026年 5月28日(木)**
14:00~16:30 (夕食会 17:00~)

がんと告知されてから、うろたえる患者と向き合い続けてきた緩和ケアの専門医だからこそ見えてくる事は、人として生きる上でかけがえないものかもしれません。がんカフェを立ち上げられ、多くの患者さんに向き合ってきた樋野先生だからこそ、見えてくることがあることでしょう。対面とオンラインのこの機会にご期待ください。



ゲスト 樋野興夫 Okio Hino



島根県生まれ。米国アインシュタイン医学大学肝臓研究センター、米国フォクスチェースがんセンター、癌研究所実験病理部長を経て、現在順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女子園理事長、一般社団法人がん哲学外来名誉理事長。著書『いい覚悟で生きる』、『がんばりすぎない、悲しすぎない』、『人の心に贈り物を残していく』、『今日』という日の花を摘む』、『もしも突然、がんを告知されたとしたら』他。
★樋野先生との面談もあります。申込み（対面か zoom が明記下さい）先着 4 名

会場 川越のぞみ教会（駐車場は十分あります）
※西武新宿線本川越駅東口ファミマ前（13:25）及び川越駅東口アトレ裏一方通行出口付近（13:35）から送迎バスが出ます。要予約

※路線バスご利用の場合は、川越駅東口7番バス乗り場乗車
本川越駅の場合は、5番乗り場「埼玉医大方面行き」乗車
「四ツ谷入口」または「伊佐沼入口」で下車

■参加費：無料 自由カンパはあります。
※17 時頃より夕食会を予定しています。1200 円 要申込み

■申し込み（メールまたはファックスで/裏面にあります）
FAX **049-299-4777** ※ 締め切り 5/22（金）
メール kawagoenozomichurch@gmail.com
zoom 参加希望者には URL をメールでお知らせします。

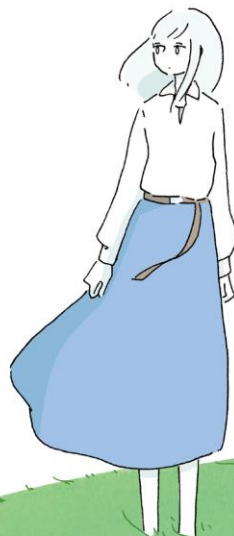
■主催： **がん哲学外来@川越 のぞみカフェ**
〒350 - 0854 埼玉県川越市寺井 240-1 ※カフェは毎月第 4 木曜午後 2 時~
TEL / FAX 049-299-4777 HP <http://www.21nozomi-church.com>



■ 後援 一般社団法人がん哲学外来 ホームページ <http://www.gantetsugaku.org>



順天堂大学名誉教授
樋野興夫



もしも突然、
がんを告知された
としたら。

自分が、大切な人が、
人生の困難に直面したとき
不安でたまらない気持ちが軽くなる

なんで、私なの

5000人以上のがん患者と家族に寄り添い
生きる希望を与えてきた医師が贈る、救済の書！

東洋経済新報社